

科目群の編成

地域経営学部の履修体系(表)

2026年度生

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択必修	選択	
教養教育科目	基礎科目群	語学リテラシー (英語、中国語)	Integrated English I Integrated English II			4	4	4	
		未来リテラシー					2		
		情報リテラシー	データサイエンス概論			2	2		
		数学リテラシー					2		
	教養科目群	リベラルアーツ							10
		科学・技術							2
		地域学							2
						計 34単位(A)			
専門教育科目	専門基礎科目	経済学概論 社会学概論	経営学概論			12		6	
		専門基礎科目群	経営イノベーション領域	戦略経営論			2		22※
			組織マネジメント領域	人的資源管理論			2		
			環境ツーリズム領域	観光経営論			2		
	地域公共政策領域		地域社会学			2			
	調査・分析系科目	社会調査論				4	2		
	プロジェクト・ゼミナール科目	課題探求ゼミナールⅠ 課題探求ゼミナールⅡ	プロジェクト研究Ⅰ	プロジェクト研究Ⅱ	卒業研究	32			
キャリア科目						4			
						計 90単位(B)			
						(A) + (B) = 合計 124単位			

※ 経営イノベーションコースは、「経営イノベーション領域」「組織マネジメント領域」から16単位、「環境ツーリズム領域」「地域公共政策領域」から6単位とする。

地域サステナビリティコースは、「環境ツーリズム領域」「地域公共政策領域」から16単位、「経営イノベーション領域」「組織マネジメント領域」から6単位とする。

1. 教養教育科目

教養教育科目は、二つの科目群から成る。具体的には、社会の中の自分をリベラルに相対化する学び(CP1)及びイノベーションとサステナビリティを横断する文理融合的な学び(CP2)の基礎として、リテラシー系科目を中心とする基礎科目群とリベラルアーツ系科目を中心とする教養科目群によって構成する。

「基礎科目群」及び「教養科目群」に位置付けられた科目を、主に1年次から3年次にかけて、発展的・段階的に履修する。

2. 専門教育科目

専門教育科目は、専門科目群から成る。まず、社会の中の自分をリベラルに相対化する学び(CP1)及びイノベーションとサステナビリティを横断する文理融合的な学び(CP2)を形作る基幹科目として、「専門基礎科目」と「専門基幹科目」を設ける。

また、「価値創造・資源活用力」を生み出す循環的な学び(CP3)及び地域協働を通じた社会実装を目指す実践的な学び(CP4)を支える科目として「調査・分析系科目」、それらの学びを展開する科目として「プロジェクト・ゼミナール科目」を設ける。さらに、持続可能な社会に向けた自身の将来ビジョンを創造する学び(CP5)として、「キャリア科目」を設ける。

「専門基礎科目」は、主に1年次から2年次に履修する。

「専門基幹科目」は、主に2年次から3年次にかけて、発展的・段階的に履修する。

「プロジェクト・ゼミナール科目」は、1年次から4年次にかけて、発展的・段階的に履修する。なお、「プロジェクト・ゼミナール科目」は、全科目を主要授業科目として、毎週2コマ連続で行う必修科目とする。

「調査・分析系科目」は、主に1年次から3年次にかけて、発展的・段階的に履修する。

「キャリア科目」は、主に1年次から3年次にかけて発展的・段階的に履修する。

専門ゼミナールと卒業研究

本学部の学びは、「イノベーション」と「サステナビリティ」分野の横断的な学びを基盤に、地域の課題発見から価値創造につながる循環的な学びを大切にする。すなわち、「プロジェクト・ゼミナール科目」を重心として学びのプロセスを組み立て、そのプロセスの集大成である「卒業研究」を通して、「サステナブル」な「イノベーション」につなげる研究成果を、本学部の全学生が卒業論文等として社会に還元する。